

人口ビジョン素案・総合戦略素案【パブリックコメント】での町民意見と町の考え方

この他にも表現等に関するご指摘などを頂きましたが、個別に判断して修正等を図ります。

【意見提出者数 4名 意見数14件】

基本目標	番号	意見等（要旨）	町の考え方
石川町で安定した雇用をつくる	1	<p>石川町の雇用に関して 対策自体は他の市町村と同様と感じる。これなら他の市町村を選ぶかもしれない。石川町にする決め手が圧倒的に足りない。</p>	<p>総合戦略に記載の各施策は、それに基づく個別の事業毎に、毎年その効果検証を行い、事業及び施策の見直しを図りながら、基本目標及び数値目標の達成を目指すものです。平成28年度は、基本目標1に記載する施策を中心に取り組みを進めながら、適宜事業の追加や見直しを行い目標を達成したいと考えております。</p>
	2	<p>次世代を担う後継者の育成に関して 新規就農対策の推進ではIターン（移住者の受け入れ）を進めることが重要であると考え、次のことを提案する。</p> <p>1. 町のホームページ等を利用して、下記の事を広報する。 (1) 現在立派に農業で生計を立てている、さまざまな方を取り上げる。 (2) 実際にIターンしている方の状況を紹介する。 (3) 農業体験の具体的なものを提示し、募集する。</p> <p>2. 農業体験の受け入れ先を確保する。 (1) 受け入れ期間は数ヶ月から3年ぐらいまでとし、短いものは体験でもよいが、できる限り、農業で自立できる農業技術を身に付けてもらうようにする。 (2) 受け入れ先を公募し、可能な限り確保する。できれば、NPO法人を立ち上げ、団体で、技術指導をするようにしたい。 (3) 農業体験期間中は生活が成り立つように、新規就農者支援制度に加えて、研修期間中も給料を払う。また、住宅については、空き家、町営住宅等を利用する。</p> <p>3. 農家としての自立支援 (1) 農地の確保には、農地中間管理機構を利用するなどして、農地を借りる際の負担を軽減する。 (2) 家族で生活できるだけの、農地を確保する。</p>	<p>1. について 田舎暮らし体験や就労体験プログラムの整備を図り、HPへの掲載やふるさと回帰支援センターと連携しながら、広くPRを図ります。</p> <p>2. について 生産農家や法人と受け入れの期間や仕事内容等プログラムの整備を図り、地域おこし協力隊事業等を活用した体験者の収入や住居等の条件整備を図りながら取り組みます。</p> <p>3. について 農地中間管理機構との連携により、農地の出し手の発掘を図ります。中間管理機構による交付金は出し手に対するもののみであることから、受け手に対する支援を町として検討します。 農業経営面では、米や園芸作物、畜産など営農類型により必要とする農地の規模は様々であり、関係機関と連携し、新規就農者の相談・支援等の対応をします。</p>

基本目標	番号	意見等（要旨）	町の考え方
若い世代の結婚・出産・子育ての希望に応える	3	<p>子育てサポート体制の充実と経済的支援に関して 幼稚園や保育所に早朝、延長保育や年度の途中からの入所などがあると助かる。また、働く立場の待遇改善や正社員登用も強く望む。</p> <p>平日の子育てサロンは共働き夫婦が参加できない可能性がある。また、子育てサロンの活動内容等をホームページなどで紹介したら初めての方も参加しやすいと思う。</p> <p>子育て相談や交流は時間の融通がきくネットやメールの活用なども視野にいれて欲しい。</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 保育所の保育時間は、第一・第二保育所が7時15分から18時45分まで、野木沢保育所が8時から17時45分までとなっています。 • 年度途中の入所については、随時受け付けしています。平成27年度の待機児童はおりません。 • 職員の処遇改善等については、社会情勢などを考慮して見直しを凶っております。正職員の採用は平成28年度は3名を予定しています。 • 2月から毎週日曜日に子どもふれあい遊び場広場“いしかわスキッズ広場”を中谷自治センター体育館で行います。 • 子育てサロン等の活動状況については、町の広報等でお知らせしていますが今後はホームページなどでも紹介します。 • 子育て相談については、メール等での利用を検討します。
	4	<p>子育てサポート体制の充実と経済的支援に関して 実効ある施策は、基本目標3に該当するが子育て世帯への保育料や給食費、子ども医療費は無償化するなど大胆な検討が必要であると考えます。</p> <p>また、若者の負担を軽減するためにも「健康で長生きしよう」をスローガンとした「町民運動」の展開を提案します＝医療費の削減、健康で元気なまちづくり。</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 町立小中学校での給食費の半額補助、18歳までの子どもの医療費自己負担の無料化を継続する予定です。 • 平成27年度に続き、一部階層での保育料の軽減を凶る予定です。 • 現在の新生児誕生祝い金制度を見直し、拡大を凶る予定です。

基本目標	番号	意見等（要旨）	町の考え方
協働と循環のまちづくり	5	<p>石川版「小さな拠点」の形成と交通ネットワークづくりに関して 通勤時間帯の118号線の渋滞を改善して欲しい。交通の便が悪い一つの原因ではないか。通勤時間帯のみ裏道を一方通行にするなどの対策を望む。</p>	<p>まちなかの拠点及び各地区の拠点を結ぶ公共交通のネットワークを再編することで、交通弱者の利便性を向上し、コンパクトシティを実現することを想定しています。</p>
	6	<p>石川版「小さな拠点」の形成と交通ネットワークづくりに関して 石川町には2つの高校があり、平日は高校生が多いが遊べる場所がない。図書館や公民館を高校生でも利用しやすくしてみてもどうか。また、水郡線の本数も少ないので時間を有効利用できる場所があれば高校卒業後も若者が来やすく栄えると思う。</p>	<p>平成27年度から一部進める、まちなかの空き地や空き店舗を活用した居場所づくりを、順次進めます。 旧石川小学校を改修し、図書館や公民館、子ども遊び場広場など、人が気軽に集い交流できる「まちなか多機能施設（文教福祉複合施設）」の整備を進めます。</p>
	7	<p>石川版「小さな拠点」の形成と交通ネットワークづくりに関して 施策で掲げている地域自治協議会の位置づけについては、これまでの議会答弁で、少子高齢化や人口減少及び地域コミュニティの崩壊に対応するための自主運営組織とあったが、地域自治協議会設立の推進と言う考え方は受け入れやすい。しかし、地域間交通ネットワークの形成で地域自治協議会を小さな拠点に位置づけているが、自治センターへの移行成果の検証がないままに地域自治協議会を設立し、その旧町村単位の組織が小さな拠点であると理解するには難しい。</p>	<p>住民による主体的なまちづくりを目指し、本町に相応しい地域自治組織のあり方として、地域自治協議会を提案しながら、各地区を単位とした準備委員会の中で、研修や意見交換を行いそのあり方について検討・協議を進めているところです。 地域づくりの拠点としての自治センターを基礎とし、さらに内発的なつながりの創出ができるような、協働のまちづくりを目指し検討を進めています。 地域間交通ネットワークについては、地域公共交通活性化再生法に基づく地域公共交通網形成計画の策定を検討し、同計画ではまちづくりとの連携に留意した交通ネットワーク形成が求められていることから、地域住民が集まり地域の活動拠点となる各自治センターを核とし、地域全体を見渡した面的な公共交通ネットワーク形成の検討を進めます。</p>

基本目標	番号	意見等（要旨）	町の考え方
その他	8	<p>石川町まち・ひと・しごと創生総合戦略素案に関して P1の人口ビジョン及び総合戦略の位置づけで書かれている総合戦略は5ヵ年（実質4ヵ年）の計画で、結果を重視した実効性のあるものとするあり、2040年や2060年を目標とすると人口ビジョンの将来方向や展望とは乖離する。また、P2の冒頭に「第5次総合計画を基本に・・・」とあるが、各計画等の関わりを明示したほうが町民にはわかりやすく、評価・検証もやりやすいと考える。</p>	<p>市町村総合戦略は、5年を計画期間とする国の総合戦略を基に、策定するものであることから、同様の期間を設定するものであります。しかしながら、人口減少対策は、その後も人口動態を注視し、取り組みを進める必要があります。その際、現在人口とのかい離の程度を把握するため、将来の人口推計を予測し、計画期間後も継続した取り組みを進め、人口減少問題への対策を進めるものであります。第5次総合計画との連動、整合については、総合戦略に追加記載いたします。</p>
	9	<p>石川町まち・ひと・しごと創生総合戦略素案に関して 第2章の基本目標ごとの取組では、新規・継続と表記し、P17以降の政策パッケージには基本目標の施策横断の取組が例示されているが、各計画を直接的に横断する施策として表現したほうが分かりやすいし、各計画の進行管理や評価・検証に有意と考える。また、継続とある振興計画等の取組（事業等）に対し、これまでどう進行管理がなされ、検証のもとに次のステップへと進めてきたのか、疑問がある。</p>	<p>各基本目標の基本的方向を目指し、取り組みを推進するものであります。政策パッケージについては、横断し関連する事業をわかりやすく可視的に表現するための参考資料とご理解願います。進行管理につきましては、政策パッケージではなく、基本目標毎にKPIや数値目標の進捗状況を把握し、検証いたします。継続事業につきましては、毎年の行政評価の中で検証した事業の中から、継続することで人口減少の対策に繋がる施策と位置付けたものとなっております。</p>
	10	<p>石川町まち・ひと・しごと創生総合戦略素案に関して 第2章では数値目標が空欄であり、議論が進まない。1月を目途に再度、意見公募をするとあるが、その段階では数値目標が明記されるのか。</p>	<p>数値目標を記載した総合戦略原案について、再度意見公募し、町民の皆様のご意見を頂戴します。</p>
	11	<p>石川町まち・ひと・しごと創生総合戦略素案に関して 実質4ヵ年の計画であり、結果重視であることから、実現可能性の高い、進捗率の確かな施策を最重点施策として位置づけ、取り組むべきではないか。</p>	<p>人口減少対策には、4つの基本目標に掲げる視点から、それぞれの施策展開が必要であると考えております。短期間で実現が可能で成果をあげることを目的とする施策のほか、長期間に渡り継続することで成果があげられる施策も取り入れながら、人口減少対策に取り組んで参ります。</p>

基本目標	番号	意見等（要旨）	町の考え方
	12	<p>素案について 県に提出する内容としてはこの程度のことは仕方ないが、一般町民には難解すぎないか。</p>	<p>人口ビジョン、総合戦略については、本編のほか、パンフレットを作成し、事業内容や支援策を町内外にPRする予定です。</p>
	13	<p>石川町まち・ひと・しごと創生総合戦略素案に関して 基本目標に共通するPDCAサイクルは細部項目の設定が進める上で重要である。</p>	<p>PDCAサイクルの特にC（チェック）に関しましては、有識者会議、議会、パブリックコメントによる町民意見を公募し検証、改善を図り、それを基にP（プラン）を立てながら事業を推進します。</p>
	14	<p>石川町人口ビジョンについて 資料としてのグラフの表現方法は見づらいため表現方法に工夫が必要である。また、年齢階層を10歳刻みにしているが、5歳刻みの方が層別は分かりやすいと思う。</p>	<p>データの出典につきましては、全国統一のものを使用するため、変更は難しいところですが、グラフの表現方法につきましては、傾向や分析等の注釈を付し、分かりやすく見やすい工夫を図ります。</p>